

2010/12/1 南日本新聞

霧島の養豚場計画地を視察県議会環境厚生委

鹿児島県議会環境厚生委員会は30日、大規模養豚場建設が計画されている霧島市霧島永水の予定地を視察した。地元住民らが8月、県議会に提出した反対陳情審査の一環として実施。業者から計画概要などを聞いた。建設を計画する鹿児島農畜産研究公社は、環境影響評価方法書の段階で、年間出荷頭数を30万頭としていたが、敷地内の地形などを考慮し12万頭に減らし準備書を作成する方針であることなどを説明。現地では調整池や川などの現状を、参加した8議員に示した。

現地には、計画に反対する住民らも訪れ、議員に独自の資料を配るなどした。

同委員会の桐原琢磨委員長は「調査、勉強を重ね、議会としての結論を出したい。（業者には）地域の理解を得る努力をしてほしい」と話した。